

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

ケアマネ SAPPORO

2012.8.1 発行

発行

一般社団法人
札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

〒001-0010
札幌市北区北10条西4丁目1
SCビル2F

TEL 011-792-1811
FAX 011-792-5140

第77号

- P 1～2. 札幌市認知症支援事業推進委員 由井 康博「札幌市認知症支援事業を通じて」
P 3. 札幌市保健福祉局 認知症支援・介護予防担当課長 鍋島あけみ「認知症とケアマネの役割について」
P 4. 岩見コラムVOL3 『非言語のコミュニケーションを大切に』 NPO法人シズネット代表 岩見 太市
P 4. 知っ得伝説 第11回『どこに聞く?』
P 5～6. KPC24 きらり★ポジティブケアマネジャー [札幌徳洲会介護センター] [～ケアマネ奮闘記～] ジャパンケア札幌星置 長塚 裕朗
P 7. 札幌市ケアプラン指導研修会(第2回)、ケアマネ受験対策講座 ほか研修会案内
P 8. 各区支部定例研修会 案内

札幌市認知症支援事業を通じて

札幌市認知症支援事業推進委員 由井 康博 (札幌市ケアマネ連協 副会長)

平成19年度に札幌市若年性認知症支援事業が始まりましたが、当初から委員として参加させていただいております。これまでの活動を通して感じたこと、ケアマネジャーの皆さんに伝えたいことをまとめました。

この事業については、ケアマネSAPPORO第57号に一度報告させていただいておりますし、同第60号で札幌市若年性認知症支援事業推進委員会の伊古田委員長から「若年性認知症の方への対応とケアマネジャーへ望むこと」の記事をいただいておりますので覚えている方もいらっしゃると思います。

当初、札幌市若年性認知症支援事業という名称でしたが、平成22年度に若年性認知症を含めた認知症の方々すべてを対象とした札幌市認知症支援事業に改変され現在に至ります。ただ事業の中心となっているのは若年性認知症の方々とその家族への支援であり、基本的な考えは発足当初と変わっていないと認識してい

ます。高齢者の認知症の方々への対策、理解はある程度進んではいるのは周知の通りですが、若年性認知症の方々とその家族への支援、対策、理解はまだまだ遅れていると言わざるを得ない状況です。

事業の主な活動として、若年性認知症市民向け講演会、若年性認知症従事者向け研修会、若年性認知症相談会、男性介護者のつどい(通称:ケア友の会)などがあります。詳細については札幌市の情報提供を参照してください。委員としては企画準備段階から関わらせていただきますし、当日もそれぞれ役割があります。これまで多くの事業に参加させていただきましたが、たくさんの関係者の皆さんと出会えたこと、学べたことはとても貴重な体験だと思っております。

これらの事業の中で、一日相談会に来られる相談者の方々がいつも印象に残ります。初期相談を担当させていただき、相談内容に応じて医師、社会保険労務士、行政などの専門相談担当者につなぎます。何度か

担当させていただく中で共通することは、ご本人の若年性認知症の症状が徐々に進むにつれ、ご本人の状態を誰も理解してくれずご家族の苦悩の日々が長く続くことです。働いている方も多いのですが、会社の同僚、友人達が徐々に遠ざかり、ご本人ご家族にとっての相談者がどんどん減っていくのです。何人もの医師に相談しても、うつかもしれないと言われ、ご本人の状態は良くなりず……。どこに相談して良いのかわからずいたのをこの相談会を知って……。と涙ながらに話される相談者に何度かお会いしました。どこにどう相談して良いのかわからなかったと皆さん同じように話されます。

すでに北海道若年認知症の人と家族の会（通称：ひまわりの会）に入会され、色々教えてもらって頑張っているんですという方もいらっしゃいます。

入会のきっかけを伺うと、悩み苦しんでいる最中に助けられる方、教えてくれる方に出会うそうです。

もっと早く必要な支援を必要な時に受けられたら良かったのにと感じてしまいます。この現実を踏まえても、やはり若年性認知症の方々とそのご家族への支援は今後さらに強化していくべきだと思います。

若年性認知症の場合、信頼できる医師に出会い、支援してくれる関係者に出会い、要介護認定を受けてやっとケアマネジャーに出会うという例が多いように感じます。（若年性認知症の場合だけではありませんが）我々ケアマネジャーが実際に相談にのらせていただく前に、ご本人ご家族が実に多くの課題、困難、障壁を乗り越えてきている経緯、背景をしっかり受け止めることから始めなくてはならないと思います。我々ケアマネジャーが関わる方々の多くは認知症を有していますが、その中でも若年性認知症は違う病気と捉えなくてはならないと考えます。

今年度から札幌市の体制も変わりました。認知症支援に対する事業がますます活発化することと思いま

す。

実際に認知症の方々の支援の前線にいるケアマネジャーにとっても心強いことです。札幌市認知症支援事業がどういう趣旨でどのように展開していくのか、一人一人のケアマネジャーの皆さんにも是非理解していただき、皆さんが担当されているご利用者ご家族の方々に必要なタイミングでそれらの情報を提供をしていただけるとより良いと思います。

地域で暮らす認知症の方々とそのご家族が幸せに暮らすことができるかどうかは、やはり我々ケアマネジャー次第であることを改めて認識しなくてはならないと思います。

認知症に関することだけではありませんが、ますます増える情報をしっかり捉えて必要な方に必要なタイミングで提供するためにもアンテナをいつも感度良くしておいていただければと思います。その一つとして札幌市認知症支援事業を有効に活用していただければと思います。

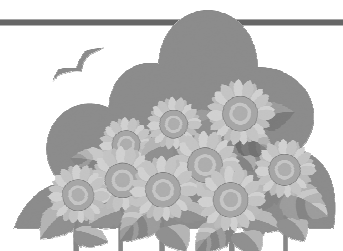
参考

●札幌市認知症コールセンター
TEL 206-7837

●若年性認知症の市民向け研修会
10月13日（土）
テーマ「職場における若年性認知症について（仮）」
講師：花園病院 松原医師（予定）

●北海道若年認知症の人と家族の会（ひまわりの会）
事務所：中央区南1条西5丁目 プレジデント松井ビル11階
TEL：090-8270-2010

●NPO法人北海道若年認知症サポートセンター
（10月 北海道の認定審査を予定）
事務所：上記若年認知症の人と家族の会と同じ
TEL/FAX：今後設置予定



札幌市保健福祉局 認知症支援・介護予防担当課長 鍋島あけみ 「認知症とケアマネの役割について」

ケアマネ連協の皆様、はじめまして。この4月より札幌市の認知症支援・介護予防担当課長として着任いたしました鍋島と申します。3年前まで精神科医として認知症をはじめとする精神科の臨床に関わっておりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回は「認知症とケアマネの役割について」述べたいと思います。ケアマネの皆さんにとって認知症については十分ご存知の内容と思いますが復習を兼ねてお読みください。

高齢者に多くみられる精神障がい**の病態として「4つのD」**があります。

Dementia（認知症）・Depression（うつ病）
Delirium（せん妄）・Delusion（妄想）です。

これらは相互に関連が深く、鑑別が必要な病態です。認知症においては他の3症状が同時に認められることもあり、医療および介護のうえで対応に苦慮することが多いのが現状です。

日本神経学会の認知症疾患治療ガイドライン2010による「認知症」の定義は「一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続性に低下し日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態を言い、それが意識障害のないときに見られる」となっています。

『アルツハイマー型（50%）』『レビー小体型（20%）』『血管性（15%）』が三大認知症として知られています。

認知症の症状としては、脳の器質的変化による「中核症状」と、心理・社会・環境要因からなる「周辺症状」があります。周辺症状は以前、介護上の「問題行動」と呼ばれていました。現在では「認知症の行動・心理症状 behavioral and

psychological symptoms of dementia」の頭文字を取ってB P S Dと呼ぶようになりました。

「徘徊」を例にあげれば、介護する側からみると目的もなく動きまわり行方不明にもなり問題ですが認知症の人にとってはどうでしょうか。

よく観察すれば本人なりの目的を持った活動であり認知症の人にとって問題となる行動ではありません。B P S Dに対しては薬物療法も有効ですが、むしろ介護の力で改善できることが数多くあります。

B P S Dは中核症状に不安やストレス、身体症状が加わることで生じ、介護者にとっても大きな負担でありストレス因となります。

その結果、認知症の人への不適切なケアとなりそれがさらにB P S Dを引き起こし・・・という悪循環にいたります。

介護者は気付かないうちに、この状況に陥り「うつ状態」になってしまうことや結果として高齢者虐待となることも珍しくありません。

認知症の人と介護者との間に立ち双方を支援することはケアマネの大きな役割です。B P S Dへの対応はケアマネの関わり如何で天と地の差となる、と言っても過言ではありません。

認知症の人には、できることを認めその力を維持する援助を、介護者には認知症の人への観察力と介護力を高める援助をすることが在宅ケアの要であると思います。

2015年には認知症高齢者が250万人と推計されるなか、B P S D対応におけるケアマネの皆さんへの期待はますます高まります。しかしながら、支援者が健康でなければその力を発揮することはできません。皆さんにはくれぐれもご自分の健康管理を怠らないようお願いいたします。

岩見コラムVOL. 3 『非言語のコミュニケーションを大切に』 NPO法人シーズネット代表 (札幌市ケアマネ連協初代会長) 岩見 太市



ぼくが福祉の世界に足を踏み入れたのは、ある知的障害者の方との出会いからです。自分で知的障害者の生活施設もつくりましたが、そこで感じたことは利用者である知的障害者との非言語によるコミュニケーションの大切さでした。

私たちは普通言語でコミュニケーションを図っていますが、知的に障害があったり、高齢者の場合は認知症や意思能力の低下によって言語によるコミュニケーションが難しくなります。介護保険の利用者の方の中にはきっとそのような方が相当おられると思います。

ぼくはスキンシップ、表情、仕草、動作など言語以外の方法で自分の考えや感情を相手に伝えコミュニケーションをとることに随分努力したことを思い出します。

ケアマネの皆さん方も利用者とのコミュニケーション、人間関係を深めるためにも言葉だけでなく非言語のコミュニケーションも大切にしていきたいと願っています。

知^{owl}得伝説

第11回 『どこに聞く?』



ののこさん

先日のケアプラン指導研修会で沢山の資料を頂いたけど、分からないことが沢山あるのですが誰に聞いたらいいのかな？

何が分からないの？分からないことがある時は聞きたいことをまとめてから事業所のみんなに相談してみてもどう？



かんちゃん



ロズさん

そうね。一人で抱え込まないでみんなに相談すると、意外にどこに問い合わせるとよいか、どのようにどこに聞くと良いのかアイデアが出てくるわ。

みんなに聞くことはとても良いことです。その前に、まずは自分で調べる方法ですが、厚生労働省HPからの解釈やQ&Aなどもあります。その他、【社会保険研究所】からでている【介護報酬の解釈1 単位数表編 (4410円)】と【介護報酬の解釈2 指定基準編 (3990円)】が一般的に使われています。事業所の皆さんで資料をみて検討するなどご参考にして下さい。

また、札幌市の介護保険課や包括支援センターも利用してみましょう。質問するときは聞きたいことをまとめて聞いてくれると質問される側も答えやすくなります。そして、相談する場所が違った場合は相談先を一緒に考えることもできますしね。

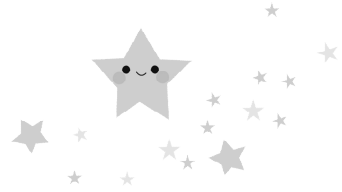


ブルさん



今年の夏も暑い！今日は最高気温30℃に達してしまいました。どこのお宅を訪問しても利用者さんは少々お疲れモードに突入しています。もちろん私たちケアマネもお疲れモードにどっぷり突入中。

そんな中、このケアマネSAPPOROの新シリーズKPC24では元気なポジティブケアマネのご紹介をしようと思います。



(医) 徳洲会 札幌徳洲会介護センター

当センターのケアマネらの経験は『普通』です。アセスメントもケアプランも面談技術もなにもかも『普通』です。人数は4人（関連グループには沢山いますが）可もなく不可もなく『普通』なのです。

しかし、当センターの強みは『利用者さんをいかに楽しく表現するか、そして利用者さんがいつも中心に（時に中心にならないこともあります）、最終的には仕事で味わった辛いと感じてしまった思い（感情労働）を吹き飛ばしてしまう』ことです。

当センターのケアマネらは、受け取り方や表現方法が多様なため、様々なアイデアが浮かび上がり、なかでも、利用者さんの特技や特徴をつかむことに関しては『プロ』中の『プロ!』。この点だけは自慢できます。

訪問後ため息混じりのAケアマネさん。利用者さんがデイサービスで他の利用者とトラブルがあったようです。デイサービスは“仕事”と認識しているため、他の利用者さんに「（仕事なので）塗り絵はせせせとしなさい。」と塗り絵の仕事を急がせ、また、外出行事に対しては「（作中に）外出とは何事か！」と怒る利用者さんがそこには居たそうです。

話を聞いていた他のケアマネは「仕方ないよね。その人にとっては仕事だから」で皆が納得。そうだよ。仕事だもの。

今後、ケアマネとしてデイサービスや家族への根回しや配慮は必要ですが、利用者さんは猛烈サラリーマンというよき昔のお父さんの姿と理解したことを思い出します。

また、受診を納得しない天涯孤独の利用者Bさん。実はこのBさん、あちこちのケアマネ事業所とヘルパー事業所を転々とし、出入り禁止事業所は数カ所あります。

ケアマネに「私のポイント（介護保険のこと）を勝手に使って！」「手みやげくらい持ってくるのが当たり前でしょう」などと罵ったり、そうかと思えば目をクリクリさせながら「ここが痛い」などとケアマネに語りかけます。

そのため、振り回されそうになるBさんの担当ケアマネは、事業所の皆にBさんの状況を伝えていつも事業所内はミニカンファとなりました。BさんからTELがあるとケアマネらは「今度はなにがあったの？」と電話が終わるのを心待ちにし、そして「そうかあ。今日も良いことありそうだ」と担当ケアマネを応援します。その後、Bさんにもとうとう入院の日が来ました。「自宅で大暴れしている」と呼ばれてBさん宅へ急遽訪問すると「ケアマネさん来てくれたの」と手をふり、その後は何事もなかったかのようにニコニコと毛布に包まれ狭い自宅内を移送されていったそうです。Bさんの担当ケアマネは「最初は嫌だったけど今はかわいらしい

と思える」と話します。時々憎たらしくなったことも事実のようですが、この辺にはあまり触れないこととしましょう。すでに終了した事例ですから。

ケアマネと聞くと「辛い、孤独、24時間拘束、気が休まらない、我慢強い、使われてなんぼ、営業部隊」などと世の中では言われていると聞いたことがあります。

しかし、考え方ひとつで我慢は終わります。事業所内で話をする。利用者さんに烙印を押さない。利用者さんとの出来事についてみんなであれこれと考えてみる。すると、みんながいつの間にか利用者さんのファンになることもできます。ケアマネとしての役割を考えることができます。お互いに元気が出ます。時に自暴自棄になることもありますが「やっぱりケアマネが自分には一番合っているな」そうつぶやいているケアマネ仲間がここには居ます。



その2

～ケアマネ奮闘記～

ジャパンケア札幌星置 長塚 裕朗

平成24年4月1日より、ジャパンケア札幌星置で小規模多機能の計画作成を担当しております、長塚と申します。

開設より初めてのケアマネ業務に時折、頭の中が大混乱になりながらも、様々な方の協力もあり、3ヶ月経った現在も奮闘中であります。

私はこれまでに訪問介護での業務経験が一番長く、身近でケアマネジャーの仕事を見て、聞いて、感じてきたつもりでした。また、介護支援専門員実務研修や社内研修等を受け、いざ開所に望みました。

実際の業務に就いてみると、何から手を付けていいかわからない。計画書に書き入れたいはずの「肝心の文章が出てこない」…。その日々を精一杯こなすことで、なんとか利用者様やご家族にご迷惑をかけることなく、これまでやって来ることが出来ました。多くの方々に支えられ、日々感謝しております。

4月開所後すぐに、記念すべき一人目の利用者を迎え入れました。その方は帰宅願望が強く、毎日昼食を終え定時になると帰り支度をして玄関で過ごすことが長く続き、スタッフみんなで手を変え品を変え、知恵を絞りながら対応を考えました。が、これといった得策は生まれず…。

そんな日々が続いた中、ヒントをくれたのはご家族でした。ご家族とのある会話の中で、家族が入院した際、毎日定時に面会に行かれていた事が解りました。そこには「帰宅したい」理由がちゃんとありました。

この時改めて、行動の一つ一つに意味がある事、理解すること。人に接する上で基本的なすごく大切なものを私はもちろん職員も再認識する機会になりました。

現在は他利用者様とも良い関係を保って生活されており、何よりも「笑顔」が多く見られ、職員の励みとなっています。

ジャパンケア札幌星置（4事業所）は、男性管理者が多く、私を含めて年代も近いことから良い関係が築けていると思います。何より相談しやすい環境が整っており、今私が頑張れる、また成長させていただける一番の利点ではないかと、感謝をしております。

今後も、私を含めジャパンケア札幌星置の職員が、人とのつながりを大切に、地域に根ざした事業所になれるように、皆と力を合わせて努力し続けて参ります。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

平成24年度第2回札幌市ケアプラン指導研修会 開催案内

介護支援専門員が在宅、施設それぞれの場で適切にケアマネジメントを行い、ケアプランを作成することができるよう支援し、もって介護支援専門員の質の向上を図ることを目的として開催いたします。



主催	札幌市
共催	一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会
日時	平成24年8月20日(月) 13:30~16:30 ※受付開始12:30
会場	札幌コンベンションセンター 大ホール 〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 ※地下鉄東西線東札幌 徒歩8分 専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
定員	750名
参加費	1,000円(会場費・資料代として)

講師	日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 渡部 律子 教授
内容	仮) ケアマネジメントにおける相談援助技術について
申込み	対象事業所には別途ご案内しておりますのでご確認ください。事業所に所属していない方は本会ホームページをご覧ください。下記事務局までご連絡ください。
申込み締切日	平成24年8月7日(火)
問合せ先	札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局 TEL 792-1811 FAX 792-5140

平成24年度「ケアマネ受験対策講座」ご案内

介護支援専門員を目指されている方がおりましたら、ご周知くださいますようご協力お願いいたします。

主催	一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会
日時	平成24年9月8日(土) 10:00~16:30 9月9日(日) 10:00~16:30
会場	札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室 (中央区大通西19丁目 地下鉄東西線「西18丁目」駅下車 徒歩3分) ※公共交通機関でのご来場を推奨
定員	100名
受講料	模擬試験Bのみ:5,250円、9/8講座のみ:6,000円 9/9講座のみ:10,000円、両日講座セット:14,000円 全セット(模擬試験+講座):18,000円
その他	講師の讲义(資料)は当日お渡しします。

内容	9月8日(土) 10:00~ 模擬試験B 13:15~「保健医療サービス分野の集中講座」 9月9日(日) 10:00~「介護分野を中心としたケアマネ試験集中講座」
申込み	本会ホームページをご覧ください。下記事務局までご連絡ください。
申込み締切	平成24年8月30日(木)
問合せ先	札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局 TEL 792-1811 FAX 792-5140



札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会主催 平成24年度介護保険講演会のお知らせ

札幌市内の介護保険サービス事業所が相互に連携するとともに介護保険に関する情報を共有化し、もって介護保険のサービスの質を向上させるために開催します。

日時	平成24年8月23日(木) 14:00~15:30(受付13:30~)
会場	札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室 (中央区大通西19丁目地下鉄東西線「西18丁目」駅下車 徒歩3分) ※お車でのご来場はご遠慮ください。
定員	300名
参加費	無料
講師	社会福祉法人うらら 特別養護老人ホームみずべの苑 施設長・看護師 川崎 千鶴子 氏(予定)
内容	「医療と介護の連携について」(仮)
申込み方法	下記事務局まで電話またはFAXでお申し込みください
申込み締切日	平成24年8月16日(木)
お問合せ	札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会事務局 TEL 612-6110 FAX 613-5486

札幌市ボランティア研修センター主催 成年後見セミナー

成年後見制度や日常生活自立支援事業に対する理解を深め、高齢者や障がい者等に対する権利を擁護するため、成年後見制度の利用をすすめることを目的とします。

日時	平成24年9月14日(金) 13:30~16:00
場所	札幌市ボランティア研修センター
定員	30名 受講料 500円
講師	リーガルサポートさっぽろ 副支部長 江越 琢也 氏 札幌市社会福祉協議会自立支援課 相談係長 大能 氏
テーマ	「成年後見制度の概要と実際」 「日常生活自立支援事業の概要と実際」ほか
申込み方法	下記申込み先まで電話またはFAXでお申込みください
申込み開始日	平成24年8月20日(月)から
申込み先	札幌市社会福祉協議会ボランティア研修センター (札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2F)
必要事項	研修名・氏名・性別・年齢・所属・連絡先・住所
TEL	223-6005 FAX 261-8881

掲示板コーナー

定例会について、非会員の方は参加費 1 回2,000円とさせていただきます。

会員の皆様は従来どおり無料です。(所属する区支部以外への参加も無料です)

最新情報は、ホームページにてご確認願います。

● 中央区支部定例会

日時	10月中旬予定
会場	未定
テーマ	未定
内容	MSW、PSW協会と合同研修会
講師	未定

● 北区支部定例会

日時	9/21(金)18:30～
会場	北区民センター
テーマ	仮)診療報酬改定、我々ケアマネジャーに求められるものは？
講師	北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長、道東脳神経外科病院 副委員長 関 建久 氏

● 東区支部定例会

日時	8/22(水) 18:30～
会場	東区民センター 視聴覚室
テーマ	ケアマネ自身のメンタルケア(仮)
内容	相談援助職としてのケアマネのメンタルケアについて考える。
講師	北海道医療大学心理学部 教授 富家 直明 氏

● 白石区支部定例会

日時	8/23(木) 18:30～
会場	白石区民センター 1階 多目的室
テーマ	ケアプランにリハビリの視点を
内容	研修会
講師	キタライフ 北のくらしと地域ケア研究所 代表 鈴木 英樹 氏

● 厚別区支部定例会

日時	未定 (決まり次第ホームページに掲載します)
会場	未定
テーマ	未定
講師	未定

● 豊平区支部定例会

日時	①8/8(水) 18:30～20:00 ②10/23(水) 18:30～20:00
会場	①豊平区民センター 大ホール ②豊平区民センター (未定)
テーマ	①仮)介護支援専門員と生活保護 ②仮)介護保険の障害者総合支援法
内容	①生活保護の基礎と介護保険との関係について学ぶ ②介護保険法と障害者支援法の関係について学ぶ
講師	①札幌市保健福祉局総務部保護指導課 ②1. 緑花会すまいる 管理者 光増 昌久 氏 2. 札幌市障害保健福祉課障害者総合支援法担当(未定)

● 清田区支部定例会

日時	①10/17 ②11月未定
会場	①②未定
テーマ	①きよマネ塾～事例検討会～ ②清田区ケアプラン指導研修会
内容	①事例をもとにケースケアマネジメントを学ぶ ②相談援助(未定)
講師	①②未定

● 南区支部定例会

日時	10/19(金) 午後
会場	南区民センター
テーマ	認知症について
内容	市民向け講演会
講師	未定

● 西区支部定例会

日時	8/21(火) 18:30～20:30
会場	西区民センター 3階 視聴覚室
テーマ	生活保護について
内容	講義
講師	札幌市保健福祉局総務部保護指導課

● 手稲区支部定例会

日時	10/11(木)
会場	手稲区民センター2階 第1・2会議室
テーマ	HIV陽性者を支えよう ～HIVの基礎知識と現状～
内容	研修会
講師	北海道大学病院 HIV担当看護師 渡部 恵子 氏

【お問い合わせ先】

札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局
TEL 011-792-1811
FAX 011-792-5140



最新情報は、ホームページ <http://sapporo-cmrenkyo.jp/> でご覧ください。